

## 地域社会における防犯環境設計 (CPTED) の受容過程

— 関西圏の住宅地に対する聞き取り調査から —

西川 純司

(京都大学大学院文学研究科 博士後期課程)

2010年12月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: [intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp](mailto:intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp) URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

## アブストラクト

本報告書は、現在まちづくり政策において注目されている「防犯環境設計」(CPTED)について、地域社会におけるその受容の過程と実践を明らかにすることを目的としている。そのために、関西圏の2つの住宅地に対する聞き取り調査を行った。調査の結果、防犯をコンセプトに掲げている住宅地でも、その開発過程では必ずしも防犯だけが問題になっていたのでないこと、また、機械や道具による防犯からコミュニティを活用した防犯へと、住宅地開発における防犯の考え方の変化が見られること、などが明らかになった。そこから、現在のタウンセキュリティの増加という現象を、社会のセキュリティ化という文脈ではなく、地域社会論の文脈で検討すべき側面を持っていることを示している。

キーワード：CPTED、まちづくり、コミュニティ、防犯実践、インタビュー調査

2009年度次世代研究「地域社会における防犯環境設計（CPTED）の受容過程 ー関西圏の住宅地に対する聞き取り調査からー」（研究代表：西川純司）による成果である。

【メンバー】（ ）内は2009年度プロジェクト時点

西川 純司（京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程）

田部 勢津久（京都大学大学院人間・環境学研究科 教授）

五十嵐 太郎（東北大学大学院工学研究科 准教授）